

子どもの生きる力の育成に向けた教育環境などの整備

事業番号	47	事業名	幼児教育振興プログラムの策定・運用	担当課	保育幼稚園課 指導課・学務課
計画内容		幼稚園の整備状況及び地域の実情等を考慮し、公立幼稚園の適正配置、公・私立の選択肢の拡大など、本市の幼児教育の振興に関する政策プログラムを策定・運用を図ります。			
		平成15年度実績	検討	平成21年度目標	策定・運用
平成21年度 実施状況と評価		<p>* 保育幼稚園課 【幼稚園教育の振興】 3歳児保育：青葉幼稚園、見明川幼稚園、堀江幼稚園、美浜南幼稚園、入船南幼稚園の5園2学級ずつ実施（1学級20名定員） 預かり保育：実施3園の定員50名で実施、新入園児を4月1日より受け入れる 幼稚園と保育園の連携の推進：「浦安市就学前保育教育指針」策定、冊子及び概要版リーフレット完成配付 私立幼稚園誘致：なし 【幼児期の家庭教育および地域社会における子育て支援の充実】 子育てすこやか広場：開催数及び相談事業内容の充実</p> <p>実施にあたっては、本市の平成14年8月の報告書「新しい時代の幼児教育の環境づくりについて」の提案をもとに、幼児教育の環境整備を進めており、それに沿った具体的内容は「私立幼稚園の誘致」「預かり保育の拡充」である。しかし、19年度より「公立幼稚園の3歳児保育」が実施されるなど、報告書内容から実施内容を変更することとした。</p> <p>* 学務課・指導課 【幼稚園教育の振興】 ・ 幼稚園教員の資質向上：計画的な研修会の実施 ・ 幼稚園と小学校の連携の推進：幼（保）小連携教育推進リーフレット作成・配付</p> <p>・ 幼稚園教員の資質向上：中堅教員の研究を充実させるために実施してきた研修も、5年目を迎え、各自及び各園の実践に活かすことができた。 ・ 幼稚園と小学校の連携の推進：幼稚園・小学校および保育園を幼保小連携教育協力校に指定し、連携教育に取り組んで2年目を迎えた。（入船地区に、保育園が加わる。）昨年度に引き続き、保育園、幼稚園、小学校の教師が、互いの保育や授業を参観することで、教師間の相互理解（幼児・児童理解や指導方法・指導内容の理解）を図ることができた。</p>			
前期計画期間 を通しての 事業評価		<p>* 保育幼稚園課 浦安市の「幼児教育振興プログラム」は、文部科学省のプログラムを受け策定予定であったが、平成14年にまとめられた「新しい時代の幼児教育の環境づくりについて」をもとに、平成18年度まで進めてきた。平成19年度から3年保育も実施され、預かり保育、子育て支援事業の充実、また幼稚園と保育園との連携も図られ、内容的には、文部科学省のプログラムで掲げられている項目を概ね達成できている。なお、今後さらに、幼稚園、保育園の保育教育の充実と、小学校との連携を進めていく必要がある。</p> <p>平成14年の「幼稚園教育のあり方検討会」の報告内容及び、平成21年度に策定された「浦安市就学前保育・教育指針」をもって、幼児教育にかかわる環境整備と、保育・教育内容の充実を図っていく考えであり、これらの取り組みを通じて、幼児教育振興プログラムへ実質的に盛り込むべき内容が網羅できたものと判断し、その策定に代える。</p> <p>* 学務課・指導課 ・ 幼稚園教員の資質向上：経験年数に応じた力の育成を目指した研修（経験層別研修）を行うことで、各園で工夫した研修が行われるなど、実践に活かされている。 ・ 幼稚園と小学校の連携の推進：保育園、幼稚園、小学校の教師が、互いの保育や授業を参観することで、教師間の相互理解（幼児・児童理解や指導方法・指導内容の理解）を図ることができた。また、接続期のカリキュラムの作成など、教師間で連携して研究を進めることができた。さらに子どもの育ちを支えていくために、幼児期の教育と小学校の教育をつなぐカリキュラムを編成、実践した。</p>			
平成22年度 事業予定と 今後の課題		<p>* 保育幼稚園課 事業廃止</p> <p>* 学務課・指導課 ・ 幼稚園教員の資質向上：引き続き、各経験層の研修を充実させる。 ・ 幼稚園と小学校の連携の推進：幼保小連携教育推進協議会で作成した接続期のカリキュラムを、実践を通して見直していく。さらに、教師間の、年間を通じた保育・授業参観を指導計画の中で位置づけていくこと、幼保小連携教育推進委員を選出すること等、連携のあり方を公開研究会の実施を通して、全市的に広めることを目指し、研究を進めていく必要がある。</p>			

事業番号	48	事業名	小学校及び中学校の整備	担当課	学務課 (教育施設課)
計画内容	住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ、学校の整備に取り組み、教育環境整備を推進します。				
	平成15年度実績	小学校14校・中学校7校	平成21年度目標	小学校17校・中学校8校	
平成21年度 実施状況と評価	<p>小学校 17校 児童数 11,016人、学級数 336学級（特別支援学級 13学級） 中学校 8校 生徒数 3,650人、学級数 108学級（特別支援学級 8学級） (平成21年5月1日現在)</p> <p>第2次学校適正配置等推進検討委員会議 3回開催 同上（内部委員会として）部会の開催 3回開催 高洲地区新設中学校建設検討委員会の開催 3回開催 (平成22年3月31日現在)</p> <p>20年度の検討委員会の結果を受けて市教育委員会で「浦安市における学校配置の適正化にむけての基本方針」を策定した。21年度は、その推進にあたり具現化を図るための課題や問題点を整理し、具体的なスケジュール等を検討するための推進会議を設置した。 第2次学校適正配置等推進検討委員会は、年度内3回の検討会議を開催し、適正規模や適正配置の考え方を整理し、大規模校対策と小規模校対策の基本方針を確認した。 小規模校対策として、具体的には中町地区に関係する方を中心とした検討委員から、それぞれの立場から問題点や課題点等の意見を伺い、現状の把握に努めた。また、中町地区の中学校の将来生徒数の推計等から、引き続き高洲地区の児童生徒数の推移の比較検討を進めている。 本年度の話し合いの結果から、来年度以降この事業を具体的に進めていく。第9中学校の建設計画と並行して検討していく。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>平成17年度に日の出南小学校、平成18年度には明海南小学校、高洲北小学校、明海中学校と新設開校してきた。また、平成22年4月には市内18番目の小学校として東野小学校を開校した。一方で中町地区の小学校が200名以下の学年単学級の学校が存在するなど、学校間規模の差もあり、よりよい教育環境の整備という視点で検討委員会を設けて検討してきた。「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」は、高洲中学校の建設の次の事業を進めることにより、より具現化されていく。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>本検討委員会は21 本検討委員会は21年度末で解散するが、引き続き問題点や課題点を具体的に に対応していくための検討を進めていくため適宜開催し検討していく予定である。 具体的には「学校統合に向けた検討委員会」を発足し、学校統合を果たした上で小中連携校の 設立に総力を注ぐ。22年度はその初年度として、学校統合に関する骨子を策定し、パブリック コメントを収集し分析して、23年度からの地域住民等への説明会などの資料としたい。地域住 民の同意・協力が得られるように、小規模校対策や小中連携校に関する先進的な取り組みをして いる自治体の活動を参考にするとともに、当該地域の現状の把握や課題の整理に努める。</p>				

事業番号	49	事業名	少人数教育の実施	担当課	指導課
計画内容	チームティーチングや少人数指導などによるきめ細かな学習指導を行い、児童生徒一人ひとりに応じた学習指導の充実を図ります。				
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>市立小・中学校25校全校に、少人数教育推進教員を各校1～5名、計71名（中途退職や中途採用を含めた現在数）を配置した（学務課）。県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導の推進に貢献している。</p> <p>また、少人数教育推進教員の実践力の向上を目指し、当該教員を対象とする研修会を年間7回開催するとともに、当該教員に各学期の実践計画書及び実践報告書の作成を求め、当該教員自身が見通しをもった計画な取り組みとその進捗状況把握ができるようにしている。</p> <p>市費少人数教育推進教員がT1として指導にあたり、県費教員と協力して少人数指導にあたりする点での改善が見られる。具体的には、習熟度別指導を“常時した”と“よくした”の小計の割合が36%、その他の少人数指導（単純分割など）を“常時した”と“よくした”の小計の割合が51%であった。また、チームティーチングの際、“T1として指導した”割合が66%であった。</p> <p>加えて、「困っていることや悩んでいることを聞いたり」や「休み時間に一緒に遊んだり」したことに限っては、「悩み聞いた」「常時した」割合が90%、「休み時間一緒」「常時した」と“よくした”の小計の割合が79%と、当該教員が児童生徒との関係においてより親密な人間関係を築くために努力し、生徒指導にも貢献していることが伺える。</p> <p>今後は、当該教員活用の点で学校間での取り組みの差を少なくすると同時に、各校の少人数指導のビジョンを明確にしていくこと、また、形式的・固定的な授業のマンネリ化を防ぎ、さらに児童生徒の実態や学習のねらいなどに応じた、より効果的な指導方法の工夫を検討していくことが必要である。また、少人数教育推進教員の人材確保が課題である。毎年、少人数教育推進教員の多くが県費教職員採用試験を受験し、約半数が退職している。その上、全国的な少人数指導の実施に伴い、少人数教育推進教員の人材確保が一層困難な状況になってきている。</p> <p>平成21年度 71名</p>				

<p>前期計画期間 を通しての 事業評価</p>	<p>各校での少人数指導の実践が深められるようになっており、様々な工夫された授業実践がなされるようになってきている。 年間の研修会の回数を増やすことで、講義や授業参観などの授業力の向上を図ることができた。また、少人数教育推進教員が学校を越えて、情報交換することで各校の工夫された授業実践を相互に取り入れることで、モラールアップと指導力の向上を図ることができた。</p>
<p>平成22年度 事業予定と 今後の課題</p>	<p>少人数教育推進教員の人材確保にむけて、関係大学への訪問等により、関係大学への協力要請を強化していきたい。(学務課) 学校訪問や各種研修会等を通して、各学校の実情を踏まえつつ、県費教員と連携したより効果的な指導方法の工夫改善に向けて指導・助言したい。(指導課)</p>

事業番号	50	事業名	小規模学校選択制度の実施	担当課	学務課
計画内容	<p>「自分にあった教育を受けたい」「子どもに適した教育を受けさせたい」という希望に応えるため、また、各学校がよりよい教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを進めていく環境をつくるため、通学区域制度を弾力化し、保護者や子どもが入学先学校を希望できる小規模学校選択制度を導入・実施します。</p>				
	平成15年度実績	計画	平成21年度目標	実施	
平成21年度 実施状況と評価	<p>平成22年度市立小学校及び中学校に入学する新1年生全員を対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対象者へ学校紹介パンフレット発送（小学校 約2,000人、中学校 約1,900人） 2 学校公開日設定（10月中、約3週間） 受入可能校 小学校～浦安小、美浜南小、入船北小、美浜北小、明海小 中学校～見明川中、美浜中 3 選択制度利用者 小学校 42名、中学校 154名 <p>平成15年度より実施している本制度は、児童生徒や保護者が、自分に適した教育を受けたい、或いは子どもに適した教育を受けさせたいという希望をいかすため、学校選択の機会を拡大するというねらいは周知されており、その利用率は毎年安定的に推移してきている。今後の受入学級数については学校ごとの教室数等を勘案しながら決定していく。</p> <p>また、各学校がよりよい教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを推進していくとのねらいも学校紹介パンフレットや学校公開等をとおして浸透してきている。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>計画当初から比較すると、児童生徒数の増加に伴い、小規模学校の選択受入対象校及び受入対象学級数が減少傾向にあり、結果的に選択できる児童生徒数が減少している。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>これまで同様に実施していく予定だが、児童生徒数の増加により、受け入れ対象学校が年々減少し、またそれに伴い余裕教室数も減少していることから、選択受入者数が縮小しているのが現状である。今年度は大幅に見直す時期にきているため、ある程度の方向性を示すよう検討していく。</p>				

事業番号	51	事業名	職業体験学習の整備・推進	担当課	指導課
計画内容	<p>生徒が地域における職業体験を通して働くことの尊さと意義に気づき、一人ひとりの夢と希望を育み、自己の将来について真剣に考える態度を養うことを目的に、職業体験学習を行います。</p>				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	整備・推進	
平成21年度 実施状況と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市立各中学校（8校）の職場体験学習の実態把握（職場体験を実施している学校：8校） ・市立各小学校（17校）の職業見学の実態把握（実施している学校：1月末に調査を実施し、17校中9校が実施） ・キャリア教育推進委員会を年間3回実施 <p>「職業見学」や「職場体験」については、各小・中学校で計画・実践されているのが現状である。各学校での取り組みにおいて、教職員や保護者の協力により体験場所を確保している。市役所や市の公共施設でも多くの職場体験を受け入れている。しかし、教職員や保護者、また受け入れる事業所への負担となっていることも実情として挙げられる。</p> <p>文部科学省や県教育委員会の「キャリア教育実践プロジェクト」の実施によって、中学生の5日間の職場体験（「キャリア・スタート・ウィーク」）や小学生の職業見学（「ゆめ・仕事びったり体験」）の実践が求められている現状から、キャリア教育推進委員会において情報交換を行うことで体験場所の確保や日程の重複等を避けることに努めた。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>平成20年度にキャリア教育推進委員会を立ち上げ、各小・中学校から選出された推進委員25名による研修や情報交換を行ってきたことで、キャリア教育に関する知識が深まり、意識の向上が見られた。また、職場体験において中学校区での日程の重複等を避けることができた。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校の職業見学や職場体験学習の現状把握の継続 ・職場体験学習に協力している企業、店舗、公共機関・施設への意識調査等、現状の分析 ・キャリア教育との関連を踏まえた指導計画の作成と受入事業所の調整に関する方策 ・学校・保護者・地域及び教育委員会の連携による新たな組織づくり 				

事業番号	52	事業名	いちよう学級(適応指導教室)の設置	担当課	指導課
計画内容	学校に行きたい気持ちがあっても行けない子どもたちに、学習・小集団活動の指導・援助を行う、不登校児童・生徒のためのいちよう学級(適応指導教室)を設置します。				
	平成15年度実績	1か所	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>21年度 ・通級生数 9名(中学生 9名) ・復帰者数 3名(中学生 3名)</p> <p>主な活動内容 市立小・中学校の不登校児童生徒のうち本人、保護者、学校で協議し、通級を希望する児童生徒を受け入れている。 いちよう学級は、不登校児童生徒の学校復帰を目的に、カウンセリングや学習指導、集団活動、体験活動等を実施して、自己決定力の育成を支援・援助し、集団生活への適応能力を育成している。</p> <p>不登校は学校復帰を果たしたといえども、当該児童生徒が義務教育を終了するまで学校と連携を図る必要があり、単に数字を比べることで評価とするべきものではない。通級生の増減についても一概に評価できない要素を含んでいる。 しかし、現在、通級生は学習や体験活動等を通して、学習を積み重ね、小集団の生活に適應できるようになってきている。いちよう学級は児童・生徒の居場所としてだけでなく、成長を支援する場としての意義は大きい。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	不登校傾向の児童・生徒が、学校に行けなくても、毎日通う場所として、いちよう学級がある意義は大きい。個に応じて目標を立て、その達成に向け、いちよう学級の指導員、学級担任、教科担任、スクールライフカウンセラー等で連携しながら指導にあたっている。いちよう学級では、生き生きと生活する児童・生徒が多く、自立に向けて学校復帰や卒業後の進路先を明確にした児童・生徒もいる。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	同様に実施していく。 いちよう学級を必要とする児童・生徒が情報を得られるよう、今後とも保護者、学校に周知していきたいと考えている。				

事業番号	53	事業名	いじめ110番の設置	担当課	指導課
計画内容	いじめ予防とその防止及びいじめ問題の早期解消を図るため、教育委員会に「いじめ110番」専用電話を設置します。				
	平成15年度実績	32件	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>・相談件数 12件 ・相談内容 言葉での脅し 2件 冷やかし・からかい 2件 仲間はずれ 8件 暴力を振るう 1件 たかり 1件 いじめ以外 1件 1件で複数の内容にわたるものがある。</p> <p>・相談対象 小学生 9件 中学生 2件 高校生 1件</p> <p>現在、各学校では、いじめの早期発見・早期対応の体制づくりやアンケートの実施、「いじめゼロキャンペーン」「イエローリボン運動」等の児童・生徒による活動等、さまざまな対策を講じており、その成果として相談件数は少なくなっていると考えられる。 相談者やその内容については多様化しており、継続した相談も増えている。また、他市からの相談なども見られる。そこで本事業では、相談者の意向を踏まえながら学校や他の相談機関との連携によって、それぞれの事案に応じた対応を図っている。 関係各機関が連携しながら対応することは、児童・生徒の健全育成を図る上で重要なことである。その意味では、今後とも必要な事業であると言える。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	相談は保護者からがほとんどだが、不安や悩みを抱え、泣きながら電話をかけてくることも多い。「いじめ110番」は、保護者の心のよりどころとなるよう、寄り添った相談を行ってきた。各学校の取り組みの結果、相談件数は減ってきているが、この事業は、「いつでも相談する場所がある」ことが重要である。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	本事業は、児童・生徒の健全育成を図ることを目的としており、そのために相談内容に応じて関係機関との連携し、対応をしている。このような事業の性質上、数値として目標を設定することはその目的にはそぐわないと言える。より多くの市民に本事業を周知し認知してもらうこと、関係各機関と情報を共有するとともに有機的な連携による対応の促進を図ることが重要である。				

事業番号	54	事業名	青少年ボランティア育成事業	担当課	社会福祉協議会
計画内容	<p>さまざまな経験を通して子どもたちの成長を支援するため、地域における青少年ボランティア育成事業を推進します。</p>				
	平成15年度実績	<p>ヤングボランティア体験教室の開催 (延べ参加人数72人) 小中学校等でのボランティア体験教室 協力(18か所) 夏休みボランティア体験学習 (延べ活動人数87人)</p>	平成21年度目標	推進	
平成21年度 実施状況と評価	<p>夏休みボランティア体験説明会 21年度夏休みボランティア体験説明会参加者人数 84名(中学生40名、高校生20名、大学生11名、短大1名、他3名) 夏休みに施設等でのボランティア体験を希望する中学1年生以上を対象に、ボランティアセンターでは、ボランティアの心構え、車いす体験、視覚障害者へのガイドヘルプ体験、高齢者疑似体験や、施設訪問時の基本的マナー、受入施設の紹介といった講義を行い、実際に夏休みボランティア体験説明会参加者に施設等でボランティア活動をしてもらった。 小中学校等でのボランティア体験教室への協力 9校</p> <p>夏休みボランティア体験説明会では、昨年と同数の参加数となった。 今回、広報うらやす、ミニコミ誌のほか、各市内中学校、高等学校、大学あてに夏休みボランティア体験説明会開催通知を配布し、この説明会の趣旨を理解していただき、1人でも多くの学生に参加しボランティア活動を体験してもらうことに努めた。</p> <p>小中学校等でのボランティア体験教室。 学校等で行なっているボランティア体験教室の手伝いとして、ボランティアグループの協力。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>夏休みボランティア体験受入施設や体験延べ人数が増加した。 ・夏休みボランティア体験受入施設 平成17年度 高齢者施設8ヶ所、保育園3ヶ所、障がい者施設2ヶ所、計13施設 平成21年度 高齢者施設38ヶ所、保育園41ヶ所、青少年施設1ヶ所、障がい者施設9ヶ所、その他6ヶ所、計95施設等 ・夏休みボランティア体験延べ人数 平成17年度101人から平成21年度229人</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>同世代の仲間づくりや達成感をもってもらえるような体感プログラムの見直しが必要でないかと予想される。</p> <p>平成15年度のヤングボランティア体験教室と夏休みボランティア体験学習をいっしょになったのが夏休みボランティア体験説明会となっている。</p>				

事業番号	55	事業名	青少年センターの相談業務の充実(再掲)	担当課	青少年センター
計画内容	<p>思春期の児童・生徒及びその保護者に対する相談体制の充実を図ります。</p>				
	平成15年度実績	相談延べ 319人	平成21年度目標	充実	
平成21年度 実施状況と評価	<p>青少年の問題行動や家庭・学校生活などに関する相談(電話及び来所)を家庭教育指導員(2名)と青少年センター相談員が受理し対応している。また、相談業務の充実のため、女性と子どものための相談機関をはじめ関係諸機関との連携を図っている。 21年度相談件数(平成22年3月末日現在) 電話相談 177回 来所相談 81回 合計 258回</p> <p>相談対象者として義務教育を終了した者や県外私立学校通学者が見られる。公立の義務教育段階を対象にした相談機関では対応できない方々の相談に対応することができた。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>年々、複雑化する青少年の問題等を家庭教育指導員(2名)と青少年センター相談員が受理し対応することができた。 また、他の関係機関との連携を図ることができた。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>義務教育を終えたひきこもり・ニートと呼ばれる方々へも相談の周知を図り、相談活動の一層の充実をめざす。</p>				

事業番号	56	事業名	青少年補導員活動の実施	担当課	青少年センター
計画内容	思春期の児童・生徒の非行の未然防止と健全育成の促進のため、青少年補導員活動を実施します。				
	平成15年度実績	青少年補導員数	102人	平成21年度目標	継続
平成21年度 実施状況と評価	<p>市内に106名の青少年補導員を委嘱し、補導活動をはじめ、非行防止に視点をのいた青少年の健全育成活動を推進している。</p> <p>地域の方に健全育成を呼びかける街頭啓発活動（6月）、補導員活動の理解を求める一日補導員キャンペーン（10月）、広報紙べかぶねの発行（1,800部×6回）、補導員資質向上のための研修会（視察・講演会等4回）、補導員相互の情報交換のための中学校区ブロック会議（4回）を実施した。</p> <p>街頭啓発、一日補導員キャンペーンでは広く市民に青少年健全育成への呼びかけを行うことができ、広報紙はホームページにも掲載し、周知を図った。研修会にも多くの参加を得た。ブロック会議では、地域の実態把握・計画の充実した実施に取り組むことができた。また、市民まつりにも参加し啓発物資の配布や会場内のパトロールを行った。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	補導活動をはじめ、多くの市民に青少年の健全育成の呼びかけを行うことができた。 引き続き青少年の健全育成の呼びかけを行う。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	一日補導員キャンペーンでは、さらに多くの市民の参加を求めていく。研修会・ブロック会議では、補導員のより一層の情報交換・意見交換を推進していく。広報紙では、タイムリーな特集の充実を図る。				

事業番号	57	事業名	教育フォーラム、教育講演会の実施	担当課	指導課 教育研究センター
計画内容	子どもたちの教育について、学校・保護者・地域・行政で考えるフォーラムや教育講演会を実施します。（平成16年度より実施）				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>学校・家庭・地域・行政の四者が連携して子どもたちの教育を考え、学びあうことを目的として、8月に教育フォーラムを1回実施した。市民からの提案をもとに、パナソニック教育財団と共催で準備を進め、『子どもたちが夢と希望を持ち、豊かな心を育むために』というテーマで、「こころを育む総合フォーラム2009 in 浦安」を開催した。</p> <p>1部の基調講演では「こころを育むとは」という演題でご講演いただき、2部の基調報告では「豊かな心を育む」ということに視点をあてた本市の児童・生徒の調査結果報告および地域の学校支援活動紹介を行った。3部のシンポジウムでは、2部の基調報告を受けて「夢と希望を持ち、豊かな心を育む環境づくり」というテーマで各分野の方々から貴重な意見を伺った。</p> <p>・四者の連携のためのフォーラムであるのに、毎年保護者や市民の参加が少ないことが課題であった。そこで今年度は、日頃より教育活動に協力していただいている各種団体に協力を呼びかけ協賛団体を募ったり、2回にわたり広報誌でよびかけたりするなど保護者や市民への広報活動を積極的に行った。当日の参加者数は、その他(教職員・保護者以外)が、60名 494名と大幅に増加し、計891名となった。</p> <p>・パナソニック教育財団が事務局を努めている「こころを育む総合フォーラム」と共催で行ったことにより、有識者の方々にシンポジストとして参加していただくことができ、今までとはまた違った、広い視野から話を伺うことができ、充実した内容であったと好評を得た。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	学校・家庭・地域・行政の四者が、それぞれの立場から浦安の教育について共に学んだり、現状と課題を話し合い、それぞれの役割と連携のあり方や可能性を考えたりする場を継続して設けることで、子どもたちの実態を共有し、相互の情報交換を通して教育への関心を高めることができた。また、子どもたちを地域全体で育てていくことの大切さが意識づけられた。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	平成22年度から、担当課が教育センターから、生涯学習課に移行する。				

地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上

事業番号	58	事業名	ブックスタート事業の実施	担当課	中央図書館 (健康増進課 ・市民課)
計画内容	<p>出生届けの際に記念品として絵本を配布し、生後4か月以降にブックスタート絵本講座を実施します。絵本を介して、親と子が心とことばを通わせ、親子の絆を深めるとともに、乳幼児に読書の基礎となる絵本の大切さ、楽しさを伝えることを支援します。</p>				
	平成15年度実績	ブックスタート絵本講座 参加者(1月～3月)	277人	平成21年度目標	継続
平成21年度 実施状況と評価	<p>市民課で出生届の際に記念品として絵本を配布。その後、健康増進課から各家庭への通知の際に事業の案内をあわせて行い、生後4ヶ月以降の親子を対象に中央図書館でブックスタート絵本講座を実施した。講座では、絵本の与え方楽しみ方を伝えるとともに簡単なわらべうた遊びも紹介した。</p> <p>平成21年度 ブックスタート絵本講座実施状況 実施回数 48回(毎月第2金曜午後 地域ごとにグループに分け4回実施) 参加人数 833人</p> <p>ブックスタート絵本講座においては、乳児を持つ保護者を対象に読書の入り口として絵本の読み聞かせの大切さ、楽しさを伝えるとともに、簡単なわらべうた遊びも紹介した。講座への参加は、その後の図書館利用、その他の集会事業への参加にも結びついている。平成21年度については、参加者が前年比減となったが、理由としては、新型インフルエンザが最も流行した11月の参加者が、他の月の半分程度であったことがあげられる。PR方法なども検証し参加者の増加を目指してゆきたい。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>参加者については年度によっての変動はあるが、一貫して900人の前後で推移している。絵本を通じて親子の絆を深める事業として市民に定着し、常に一定の参加がある。最近の傾向としては、母親のみの参加ではなく、両親の参加、祖母の参加なども見られるようになってきた。講座に参加をした帰りに子どもの名前前で図書館利用券をつくる参加者も多く、図書館利用のきっかけとしても有効と考えている。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	継続。広報の強化。				

事業番号	59	事業名	児童集会事業の実施	担当課	中央図書館																											
計画内容	<p>お話会や読み聞かせの会、簡単な理科実験の会などを行い、子どもたちに本を読むことや知識を得ることの楽しさを知る機会を提供します。また、子どもに関わる大人(親・教師・保育者など)を対象に講演会や講座を開催し、子どもの読書の大切さへの理解を促します。</p>																															
	平成15年度実績	延べ実施回数	513回	人数	4,794人																											
	平成21年度目標	継続																														
平成21年度 実施状況と評価	<p>児童を対象に、「おはなし会」「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「お楽しみ会」などを実施した。</p> <p>また、子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)を対象に、「絵本のよみきかせ講座」「親子で楽しむ絵本講座」「子どもの本の講座」などの講座、講演会を実施した。</p> <p>平成21年度 児童集会事業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おはなし会</td> <td>21回</td> <td>115人</td> </tr> <tr> <td>えほんのじかん</td> <td>595回</td> <td>6,870人</td> </tr> <tr> <td>科学で遊ぼう</td> <td>2回</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>おたのしみ会</td> <td>2回</td> <td>144人</td> </tr> <tr> <td>わらべうたの会</td> <td>24回</td> <td>430人</td> </tr> <tr> <td>絵本のよみきかせ講座</td> <td>2回</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しむ絵本講座</td> <td>6回</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>子どもの本の講座</td> <td>1回</td> <td>51人</td> </tr> </tbody> </table> <p>子どもたちに本を読むことや、知識を得ることの楽しさを知る機会を提供した。子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)に子どもの読書の大切さへの理解を促した。ほとんどの事業において昨年度同等の参加者を得たが、参加者減がみられる事業についてはPR等を検証し、参加者の増加を図りたい。</p>						実施回数	参加人数	おはなし会	21回	115人	えほんのじかん	595回	6,870人	科学で遊ぼう	2回	57人	おたのしみ会	2回	144人	わらべうたの会	24回	430人	絵本のよみきかせ講座	2回	94人	親子で楽しむ絵本講座	6回	157人	子どもの本の講座	1回	51人
	実施回数	参加人数																														
おはなし会	21回	115人																														
えほんのじかん	595回	6,870人																														
科学で遊ぼう	2回	57人																														
おたのしみ会	2回	144人																														
わらべうたの会	24回	430人																														
絵本のよみきかせ講座	2回	94人																														
親子で楽しむ絵本講座	6回	157人																														
子どもの本の講座	1回	51人																														
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>いずれの行事も、安定した参加があり市民の好評を得ている。特に全館で実施している「えほんのじかん」は、身近な分館や公民館図書室でも参加できるため、子どもたち大変好評であり、参加者が毎年増加している。</p>																															
平成22年度 事業予定と 今後の課題	継続。市立幼稚園の3歳児保育の開始に伴い、『親子で楽しむ絵本講座3～4歳コース』は参加者が減少傾向がみられたため、平成21年度は『2～3歳コース』の定員を増やした。今後とも、こうした状況の変化に応じ、対象年齢・開催時間等の見直しを随時行っていきたい。																															

事業番号	60	事業名	図書館における児童サービス事業の実施	担当課	中央図書館
計画内容	<p>子どもと本を結びつけること、子どもに関わる大人（親・教師・保育者など）に子どもにとっての読書の大切さを伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出し、紹介や読書相談などを行います。また、学校等の関係機関とも連携を図ります。</p> <p>平成15年度実績 児童書の貸出し冊数 387,901冊 平成21年度目標 推進</p>				
平成21年度 実施状況と評価	<p>子どもと本を結びつけること、子どもに関わる大人（保護者、教師、保育者など）に子どもにとっての読書の大切さを伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出し、紹介や読書相談を行っている。</p> <p>学校等の類縁機関とも連携を図り、団体貸出しや、それぞれの施設に出向いて、絵本のよみきかせ、ストーリーテリング（おはなし）、ブックトーク（本の紹介）などを実施した。子どもと読書に関する講師派遣も行っている。</p> <p>平成21年度 児童書貸出冊数 496,759冊 平成21年度類縁機関サービス実施状況 実施回数 931回 参加者数 25,534名</p> <p>児童書の貸出し冊数は前年度比で、やや減少となった。新型インフルエンザの流行による、市内の学級閉鎖や児童・生徒の外出自粛がピークであった11月の利用減が目立つことから、その影響が認められる。類縁機関に対するサービスは前年度をやや上回る実績を得、順調である。中央館、分館、公民館図書室のそれぞれにおいて、地域に密着したきめ細かい対応を行い子どもたちに対する読書環境の整備に努めたい。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>貸出しは、図書館の基本的な業務であり、児童書の貸出冊数は順調に増加している。類縁期間へのサービスも、毎年900回前後を実施し、子どもたちの読書推進に役立っている。また、最近では、今まで少なかった中学校との連携が、職業体験などを通じ増加している。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>高洲地区に新しいサービス拠点ができることを活かし、これまで近くに図書館がなかった同地区の児童の登録や貸出増につとめたい。</p>				

事業番号	61	事業名	郷土博物館における幼児・児童、生徒対象事業の充実	担当課	郷土博物館
計画内容	<p>通年にわたり、幼児、児童、生徒対象事業を企画・実施し、子どもたちが体験を通じ向学心を育むための各種事業の充実を図ります。</p> <p>平成15年度実績 37,779人 平成21年度目標 充実</p>				
平成21年度 実施状況と評価	<p>団体利用 幼稚園：博物館展示の見学や昔遊びやペカ舟乗船体験などを通して、博物館に興味を持ち、浦安の文化に親しむ。 小学校：昔遊び・昔の生活体験、海苔すき体験、海苔すき編み、ペカ舟乗船体験、戦中・戦後の暮らしを聞く、境川の環境学習 など 中学校：選択社会「浦安の歴史・文化・自然・昔のおもちゃ作り・郷土料理」など総合的な学習「干潟の生き物」</p> <p>一般利用 昔遊びと生活体験：ペーゴマ、こま、竹馬、おもちゃ作り、お手玉、わらべうた、ゆかたの着付け など 体験教室：勾玉づくり、竹細工教室、貝殻細工教室、お手玉・ねつけづくり教室、郷土料理教室、ぼったら体験、浦安かるた作り、境川乗船体験 など 観察会：干潟観察会、野鳥観察会 など 季節の行事体験：七夕飾り、お月見、大掃除、餅つき、正月遊び、豆まき、オオカンケ など</p> <p>保育園・幼稚園・小中学校の団体利用については、指導者との打ち合わせによって活用に対する希望を最大限度生かせるよう努力し、おおむね好評である。 一般利用については、事業により参加者数のバラつきもあることから、内容の見直しなど改善の余地があるものとする。 平成21年度末現在 111,688人（全体来館者数）</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>保育園・幼稚園・小中学校の団体利用については、当館の基本コンセプト「学校教育に活かせる博物館」に沿って生活体験・昔遊び・調べ学習などのカリキュラムを組んでおり、おおむね好評である。 一般利用については、休日体験講座や季節の行事に多くの幼児・児童生徒が参加している。親子での参加も多く、楽しみながら郷土の歴史や昔の暮らしを学んでいる。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>・事業内容の見直しをしながら、継続的に対応</p>				

事業番号	62	事業名	土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	各公民館において、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業を企画・実施し、子どもたちの「生きる力」をはぐくむための各種教室や交流事業を実施します。				
	平成15年度実績	48回	平成21年度目標	継続	
実施状況と評価	<p>学校完全週5日制に対応した事業の実施</p> <p>* 中央公民館 件数：0件 実施なし</p> <p>* 堀江公民館 実績件数：7件 実績内容：環境学習講座(全3回)、パパと子(全3回)、夏のおたのしみ会、クリスマス会、子どもお正月料理教室(単発)</p> <p>* 富岡公民館 実績件数：7件 実績内容：チャレンジ隊(施設見学・体験学習・調理実習など)(年7回・土曜日)、ジュニア合唱隊(年30回・土曜日)、子ども囲碁教室(毎週土曜日)、フラワーアレンジメント、プチお正月かざりを作ろう!、親子マジック教室、節分の豆まき&日本の昔遊びを楽しむ(各単発・土曜日)</p> <p>* 当代島公民館 実績件数：5件 実績内容：当代島囲碁クラブ、当代島軽スポーツくらぶ、和菓子作り教室、トールペインティングでハロウィーン気分を楽しもう!!、クリスマスリースを作ろう 開催予定：親子でみそ作り体験、キッズ太極拳体験講座</p> <p>* 美浜公民館 実績件数：6件 実績内容：影絵劇場・モバイルプラネタリウムin美浜・ミサンガ作り教室・手作りお菓子がバレンタイン(全1回・土曜日)、森の音キャッチ名人(春・秋・冬、土曜日)親子手話教室(全4回・土曜日)</p> <p>* 日の出公民館 実績件数：2件 実績内容：ほんたんけんクラブ(5月～3月第1土曜日)、スペシャル夏のおはなし会(7月18日開催)</p> <p>長期休み期間等に対応した事業の実施</p> <p>* 中央公民館 実績件数：11件 実績内容：夏休みエコ工作(2件)・夏休みエコクッキング・夏休み子ども教室「絵手紙をつくろう」・夏休み子ども映画会(2件)・科学遊び(3件)・春休みエコクッキング、春休み子ども映画会(2件)</p> <p>* 堀江公民館 実績件数：7件 実績内容：環境講座(裂き織りにチャレンジ)、料理教室、平和子ども映画会、陶芸教室、サッカーボール作り、線香花火作り、紙ひこうきを飛ばそう(単発)</p> <p>* 富岡公民館 実績件数：7件 実績内容：平和映画会、子ども料理教室、エコバッグ作り、ジーンズアクセサリー作り、茶道教室、浦安エコチャレンジ、親子でイタリアン</p> <p>* 当代島公民館 実績件数：15件 実績内容：サイエンス教室、銀粘土で工作、平和映画会、皆既(部分)日食をみよう、地球温暖化とワットのおはなし、洗剤工場を探検しよう、青い目の人形、「木工教室」で環境を考えよう、麻ひもで作ろう、日本文化体験、囲碁入門講座、火力発電所を探検しよう、くるくるレインボーや小箱をつくろう、こども絵手紙講座、木工教室</p> <p>* 美浜公民館 実績件数：8件 実績内容：親子マジック教室、子ども絵画教室(全2回)、子ども夏まつり、紙粘土細工教室(全2回)、里山体験!水辺の生き物と昆虫観察、子ども折紙教室、虫よけスプレーを作ろう!、平和映画会</p> <p>* 日の出公民館 実績件数：11件 実績内容：おはなしのへや夏版「おいしいおはなし会」、夏休み子ども陶芸教室、夏休み子ども将棋教室、夏休み子ども工芸教室、夏休み子ども工作教室、夏のスペシャル<ほんたんけんクラブ>、夏休み子ども料理教室～みんなで作ろう!フランス家庭料理～</p> <p>学校完全週5日制に対応した事業として、いずれも子どもの居場所づくり、また、仲間や指導にあたる大人との関わりの中で社会性を身につけることを主な目的として各公民館で実施した。 長期休み期間に対応した事業では、子どもの創造力を養い、達成感を味わうことを目的としたものづくりの事業などを行い、長期休みの宿題にもつながるものとした。</p>				

<p>前期計画期間 を通しての 事業評価</p>	<p>* 中央公民館 土曜日及び長期休みに地域の子どもたちの居場所づくりとして展開してまいりました。平成20年度以降はそれにプラスして環境や科学などを取り入れ、単なる物作りではなく学びにも重点をおいております。</p> <p>* 堀江公民館 土曜日及び長期休みに地域の子どもたちの居場所作りとして展開してきました。夏休みの事業のサッカーボール作りでは工作とともに児童労働の話を取り入れたところ、子ども達は関心を示し、グローバル的な視野をひろげるきっかけになったと思えます。また、今年度は土曜日に0～3歳親子のおたのしみ会()を行なったので、父親の参加率も良く好評でした。</p> <p>* 富岡公民館 通年を通しての土曜日の事業や長期休み中の地域の子ども達のための居場所づくりとして展開してきました。夏休みの事業などではその後もサークルに入り活動を続けている子どももいます。体験・ものづくりなど保護者などからも好評でした。</p> <p>* 当代島公民館 土曜日及び長期休みに地域の子どもたちの居場所づくりとして展開してきました。平成20年度以降はそれにプラスして環境や科学などを取り入れ、単なるもの作りではなく学びにも重点をおいております。</p> <p>* 美浜公民館 土曜日及び長期休みに地域の子どもたちの居場所作りとして展開してきた。自然体験から学ぶ楽しさにも力を入れており、参加者からも好評を得ている。</p> <p>* 日の出公民館 夏休みの事業については、夏休みの自由研究とも相まって、高い人気を博し、定員を増加したにもかかわらず、抽選となった。 参加者は、高い満足感を得られたものと考えている。 土曜日の子ども向け事業については、子どもの学習塾、習い事などにより案外に参加者が集まりにくい傾向もある。</p>
<p>平成22年度 事業予定と 今後の課題</p>	<p>子どもの居場所づくりのため、また、社会性を身につける機会とするため、今度以降も同様の事業を計画していきたい。</p>

事業番号	63	事業名	健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	<p>地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上に向けた役割を持つ施設です。健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上につながる事業を展開します。</p>				
	平成15年度実績	21回	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>中央公民館主催事業 実績件数：62件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、公民館合同家庭教育講演会（年1回）、講演会「就職活動はもう始まっている!?～10代をどう過ごすか～」、賢い消費者になるための健康講座～食生活編～「受験生の生活と食事」、家庭教育学級(58回)内訳・若草幼稚園13回、神明幼稚園12回、浦安小学校13回、東小学校14回、中学校6回 家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開した。</p> <p>堀江公民館主催事業 実績件数：14件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、家庭教育学級2学級（幼稚園1学級：19回・小学校1学級：19回）、おひさまクラブ（19回）・（前期：11回・後期：9回）、子育て支援講座（8回）、親と子のずくぼんじょ（12回）・たけんこ（12回）、ボランティア講座布の絵本（4回）、わくわくキッズ道場（9回）、春のつどい・豆まきとお茶会(単発)、放課後わくわく広場(4回)</p> <p>特に通年で開催されているものは、親子同士の仲間作りが図られ、受身にならず積極的に参加している姿勢が見られる。また毎月1回のおはなし会（ずくぼんじょ・たけんこ）は、地域の方・子ども達が気軽に参加できる交流の場になっている。家庭教育学級では、参加人数が少ない中、企画運営方式により公開講座を行い意欲的に取り組んでいる。</p> <p>富岡公民館主催事業 実績件数：5件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、親子であそぼう富岡ひろば（年10回×2）、親子で楽しむわらべうたとえほんの会（年11回×2）、子育てリフレッシュ講座（全4回）、家庭教育学級（幼稚園2学級、小学校2学級）</p> <p>家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開した。子育てリフレッシュ講座では、子育て中のお母さんを対象とした「アロマセラピー」を開催し、ゆったりとした癒しの時間を持てたことで参加者には好評でした。 また、通年を通じた事業では親同士・子供同士の学習や交流の場となっています。</p> <p>当代島公民館主催事業 実績件数：7件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、体育館一般開放（毎月2回、）梅雨どき親子向け体育館開放、芝生広場の開放（4～12月）、家庭教育学級・2学級（2幼稚園合同で1学級、小学校1学級）、親子フットサル体験教室（1回）</p> <p>体育館一般開放は、自由に体を動かす機会とすると同時に、安全管理者を配置することにより、遊びながらルールを身につけることを学ぶことができる。平成17年度からは、梅雨の時期に乳幼児と保護者を対象に体育館を開放している。 家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開した。</p> <p>美浜公民館主催事業 実績件数：18件 実施内容：子ども折紙教室、親子マジック教室、子ども絵画教室（2回）、子ども夏祭り、親子手話教室（全4回）、親子ドレミ教室（5回×年2回）、子育て講座『完璧な親なんていない』（全6回）、家庭教育学級（幼稚園1学級、小学校1学級）、公民館文化祭、影絵劇場、紙粘土細工教室（全2回）、虫よけスプレーを作ろう、森の音キャッチ名人（春・秋・冬）、モバイルプラネタリウムin美浜、里山体験！水辺の生き物と昆虫観察、手作りお菓子でバレンタイン、ミサンガ作り教室、子ども映画会</p> <p>子ども折紙教室では、折り紙教室参加者（60歳以上）が講師の補佐役となり、子どもたちに折り紙の楽しさを伝承するとともに、世代間交流を図る。家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開した。</p> <p>日の出公民館主催事業 実績件数：9件 実施内容：公民館文化祭（年1回）、家庭教育学級（幼稚園1学級、小学校2学級）、おひざでだっこのおはなし会、3歳児のためのおはなし会、すくすくクラブ、おはなしのへや、ニイニイのへや</p> <p>家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開しています。 幼児と親及び小学生対象のおはなし会では、親子の絆を深め、小学生では本や工作への関心を高めているものと考えています。</p>				

<p>前期計画期間 を通しての 事業評価</p>	<p>中央公民館 家庭教育学級の他にも受験生を持つ親を対象とした講演会や講座も展開し、好評でした。その他、家庭教育学級の方のアイデアで文化祭におさがり会を行い、地域のお子さんを持つ保護者やこれからお子さんを持つ方にも参加いただきました。</p>
	<p>堀江公民館 通年事業のおひさまクラブ、たけんこ、ずくぼんじょは前年の参加者も継続的に参加しており、集中してお話を聞き、物づくりも積極的に取り組んでいる。布の絵本講座では一部の参加者が公民館に布の絵本などを作るボランティアとして活動を始めており、地域の方々の力として保育室や親子事業に活用していきたい。</p>
	<p>富岡公民館 家庭教育学級は、参加者がそれぞれのニーズを持ち寄り意欲的で活発な事業の展開になっています。また、親子を対象とした事業では子どもの生き生きとした表情に触れる事が出来、同世代のお母さんたちとの情報収集にも役立っています。</p>
	<p>当代島公民館 平成19年より、浦安市をホームとしている「バルドール浦安」を講師に迎え、フットサルをとおして親子のコミュニケーションを図るよい場となっています。また、「麻ひもでつくろう」も地域の方々にボランティアでお手伝いをしていただき、地域力の向上に一役買っていたきました。</p>
	<p>美浜公民館 「子ども絵画教室」では美浜公民館定期サークルの会員の方が講師となってお手伝いしていただき、世代間、そして地域交流を図っていただいた。</p>
	<p>日の出公民館 新町地区では、父母と子どものみ世帯が多く、祖父母世代と離れて暮らしている状況が多く、子育てに関して不安を抱えている世帯が多いものと考えます。また、子どもたちも多くの人々と触れ合う機会が少ないものと考えます。これらに関して、健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業の実施は、機会の提供とともに、相互の学習の場として有効であると考えます。</p>
<p>平成22年度 事業予定と 今後の課題</p>	<p>中央公民館 今後も、家庭教育を支援する事業を展開していくと同時に地域の方々との連携も行いたい。</p> <p>堀江公民館 これまでの主催事業に加え、地域団体など指導や協力を依頼するなど、地域の方々と子どもたちの顔の見える関係作りができる事業を計画していきたい。</p> <p>富岡公民館 子育て支援のため、22年度以降も同様の事業を計画していきたい。</p> <p>当代島公民館 これまでの主催事業に加え、地域団体など指導や協力を依頼するなど、地域と子どもたちを結びつける事業を計画していきたい。</p> <p>美浜公民館 特に健全育成を目的とした事業では、遊びなどを通じて世代間交流が図れるように、22年度以降も引き続き実施したい。</p> <p>日の出公民館 平成21年度同様に実施するとともに、子どもの健全育成により役立つ内容にするよう検討いたします。</p>

事業番号	64	事業名	子ども映画会開催事業	担当課	視聴覚ライブラリー
計画内容	<p>学校週5日制に伴い子ども事業の一環として子ども映画会を開催するとともに、視聴覚ライブラリーにおいて所有する16ミリ映画フィルムの紹介及び利用促進を図ります。</p> <p>平成15年度実績 15回開催 参加者数 1,216名 平成21年度目標 参加者数 1,800名</p>				
平成21年度 実施状況と評価	<p>完全学校週5日制に伴う子ども対象事業の一環として子ども映画会を開催すると共に、視聴覚ライブラリーにおいて所有する16ミリ映画フィルム等の視聴覚教材の紹介及び利用促進を図る。</p> <p>開催内容 子ども映画会 毎月第2・4土曜日(年24回) 対象 小学校6年生までの子ども及びその保護者</p> <p>平成15年度 1,216名 平成16年度 920名 平成17年度 939名 平成18年度 839名 平成19年度 1,566名 平成20年度 1,879名 平成21年度 1,989名</p> <p>平成21年度においても、事業の周知に力を入れたことで子ども向けの事業として認知度が高まり、来場者が増加した。</p>				
前期計画期間を通しての事業評価	<p>子ども映画会の開催が市民に定着しつつあり、目標値を超える参加者増加となった。</p>				
平成22年度事業予定と今後の課題	<p>子どもたちに質の良い映画を見る機会を増やしてほしいという市民からの要望に応じて、月2回子ども映画会を実施している。平成22年度においても引き続きポスターやチラシなどを作成し教育機関などに周知を行い来場者の増加を目指す。</p>				

事業番号	65	事業名	放課後異年齢児交流促進事業	担当課	青少年課
計画内容	<p>子どもたちに安心・安全な遊び場を確保し、年齢の違う子どもがふれあうことを目的に、小学校で放課後に異年齢児童との交流促進事業を行います。</p> <p>平成15年度実績 4小学校, 40,368人 平成21年度目標 拡充</p>				
平成21年度 実施状況と評価	<p>学校施設を利用して「遊び場」を確保し、遊びを通じた異年齢児間の交流の促進することにより、児童の自主性・社会性を養い、健全な育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内5小学校にて実施(入船北、日の出、南、東、明海) 平成21年度は延べ56,028人が利用 <p>平成19年度より、日の出小学校において「放課後子どもプラン」導入により学びの場も展開「子育て支援」「青少年の健全育成」の両面から、良い評価を得られている。</p> <p>課題については、学校の空き教室等を利用して実施しているが、人口増に伴い空き教室の確保は難しく、現在設置している小学校でも教室が不足する場合も考えられるなど、児童育成クラブとの関連も含めて、事業方法などを検討しなければならない。</p> <p>全児童が対象であるが、対応するチーフ及びアシスタントパートナーの配置人員数など、人材確保を図ること。</p> <p>平成21年12月末現在 実績値 5小学校 56,028人</p>				
前期計画期間を通しての事業評価	<p>市内5校で実施してきた。平成19年度より放課後子どもプラン放課後子ども教室事業を日の出小学校で実施、書道やパソコンなどの学習活動を取り入れながら、事業を進めてきた。平成21年度からは5校全てで子ども教室を実施、来所する児童や保護者からも好評である。</p>				
平成22年度事業予定と今後の課題	<p>平成22年度は事業の有効継続を図りながら、公民館などと協力しながら、事業展開を図る。学校の余裕教室の利用について、教育委員会と協議を図りながら、事業拡大を検討していく。</p>				

事業番号	66	事業名	ジュニアリーダー研修会によるリーダー育成の実施	担当課	青少年課
計画内容	ジュニアリーダー研修会を実施し、子どもたちの中心となって仲間づくり等に取り組む地域のリーダーを育成します。				
	平成15年度実績	32人	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>リーダーに必要な知識・技術を習得する中で、リーダーとしての資質の向上を図り、同時に青少年団体の活動の充実・発展に役立てる。</p> <p>目標 (1) 表現力を身につける。 (2) 受容力を身につける。 (3) 行動力を身につける。</p> <p>・全8回の研修会 ・参加者29名(男子9名、女子20名)</p> <p>研修した内容を発表するなど工夫をこらしながらジュニアリーダーの育成を図っている。平成21年度は受講率も90%以上となっており、研修内容の工夫した成果も出ている。今後は修了した後の、活動もサポートできるよう、中学生の取り込みを図っていきたい。平成22年3月末現在 実績値 29人</p>				
前期計画期間を通しての事業評価	市内の小学校4年生から6年生を募集し、ジュニアリーダーを育成してきた。毎年概ね30人程度の児童が参加している。受講率も85%以上であり、研修終了後は浦安市リーダーズクラブに入会するなど、各自で継続する児童も見受けられる。平成18年度に研修内容を見直し、より効果の上がるよう工夫を凝らしてきた。				
平成22年度事業予定と今後の課題	より効果をあげるための研修内容等の見直し				

事業番号	67	事業名	青少年相談員による健全育成活動の実施	担当課	青少年課
計画内容	青少年と一体となり、共に喜び、共に語り、青少年の相談相手になる青少年相談員を設け、その地域での育成活動の積極的な推進を図り、青少年の健全育成に取り組めます。				
	平成15年度実績	参加者 延べ680人	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>地域の青少年健全育成の担い手である青少年相談員活動の充実を図り、学校、家庭、地域との交流をすすめている。</p> <p>実施内容 ・たけのこ掘り ・少年親善スポーツ大会(10人11脚・ミニバスケットボール)・ブラックシアター製作、発表 ・子ども体験学習(千葉大学医学部) ・青少年夏のキャンプ(1泊2日) (今後実施)少年スケート教室(1泊2日)</p> <p>様々な事業を市内在住の小・中学生から募集し実施することで、子ども達や相談員間の交流も図れている。また、地域での活動に対しても積極的に取組んでおり、各地域においての健全育成推進役として、評価をされている。</p> <p>平成22年3月末現在 実績値 各種主催事業への参加延1,312人</p>				
前期計画期間を通しての事業評価	平成18年度に8名、平成20年度に2名を増員し、現在は58名の相談員を委嘱して青少年健全育成活動の推進を図ってきた。相談員事業に参加する児童・生徒も年間360人から多い時で450人程度となっており、市民の方々にも大分、活動が浸透してきている様子がうかがわれる。				
平成22年度事業予定と今後の課題	今後も事業の充実に向け、青少年相談員連絡協議会と連携を図りながら青少年健全育成に努めていく。 第17期青少年相談員の委嘱に向けて、新たな相談員の協力依頼を図っていく。				

事業番号	68	事業名	青少年館活動事業の充実	担当課	青少年館
計画内容	青少年が自主的に活動する居場所づくりを通して、青少年同士の交流や活動を支援します。				
	平成15年度実績	1か所	延べ利用者数 45,006人	平成21年度目標	1か所 充実
平成21年度 実施状況と評価	<p>青少年が自由に集まり、自主的に活動するいわゆる居場所づくりを通して、個々の自己実現を図ると同時に、青少年同士の交流と自発的な学習や趣味等の活動を行うため青少年館を設置している。平成19年度からは指定管理委託とし、(財)浦安市施設利用振興公社が管理・運営している。体育レクリエーション、文化教養、環境、各種イベントなど興味関心を引き出すような事業展開を実施している。</p> <p>平成21年度利用状況 延べ42,379人</p> <p>青少年館の主催行事を多岐にわたって計画され、多くの子どもの参加を得ることができた。特に中学生の利用が延びてきている。指定管理者も事業内容に見直しをかけながら、事業を実施しており、数多くの体験ができる場としても活用されている。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	平成19年度より、指定管理者制度を導入して運営管理を実施してきた。民間事業者のノウハウを活用し、各種の事業が展開され、利用者数も大幅に延びており、青少年の居場所としての機能が果たせてきていることが感じられる。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	指定管理期間を5年間として、新たな指定を実施 事業内容に学習プログラムを導入し、教育的な要素を取り入れた事業展開を図る。				

事業番号	69	事業名	青少年活動支援の推進	担当課	青少年課
計画内容	市内にある子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、リーダーズクラブなどの青少年団体活動を支援し、地域において子どもたちの健全育成につながる青少年活動を推進します。				
	平成15年度実績	市子連 1団体 子ども会 33団体	平成21年度目標	推進	
平成21年度 実施状況と評価	<p>・補助金交付活動(浦安市子ども会育成連絡協議会、子ども会36団体、ボーイスカウト2団体、ガールスカウト2団体、浦安市リーダーズクラブ)</p> <p>・側面的な支援(様々な事業の手伝い及び後援)</p> <p>各団体とも自主的に地域に貢献する事業を展開しているの、良い評価と考える。会員が集まらないなど、各団体とも苦慮しているが、広報活動などを協力しながら支援していきたい。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	少子化に伴い、子ども会活動の継続などに危機感があったものの、各団体とも工夫を凝らしながら、活動を継続してきている。活動の運営補助を受けることで、各団体の活動が活発に行われることで、地域での青少年の健全育成につながっていることと思われる。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	青少年健全育成を推進するにあたっては、青少年関係団体の協力を得ることが大きな推進力となっており、今後も連携を図りながら事業の充実に努めていく。 平成21年同様				

事業番号	70	事業名	青少年問題協議会の設置・開催	担当課	青少年課
計画内容	<p>青少年の現状や問題を把握し、青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策づくり、及び適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図るため、青少年問題協議会を設置・開催します。</p>				
	平成15年度実績	1回	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>平成22年1月29日 実施 議題 青少年の補導状況 青少年犯罪状況 青少年リーダー養成事業について 仮称高洲児童館について 以上の内容で協議会を開催、関係団体等より意見聴取を行う。</p> <p>青少年問題の原因及び対応策を協議することで、今後の青少年の健全育成を図ることができる。</p> <p>基本計画事業である青少年リーダー養成事業の進捗状況等においては、今後の事業の進め方など参考となる意見をいただいた。</p> <p>また、青少年だけでなくそれを取巻く大人のあり方についても、協力しながら啓発活動を進めていくことなど、情報の共有を図った。</p> <p>会議を公開として開催。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>青少年の補導・相談・犯罪などについて協議するとともに、基本計画にあげられている青少年健全育成事業などについても、意見をいただきながら、事業の進捗状況などの検証もおこなった。多岐にわたる青少年関係団体の代表者からは、参考とさせていただき意見も多く出ている。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	平成22年度も同様。委員2名増員予定。				

事業番号	71	事業名	少年の広場の充実	担当課	青少年課
計画内容	<p>青少年団体が野外活動を行う場を整備・提供します。</p>				
	平成15年度実績	1か所 90団体、4,181人	平成21年度目標	1か所、充実	
平成21年度 実施状況と評価	<p>青少年団体等の野外活動の場として、浦安市施設利用振興公社に委託し運営している。公社の自主事業により利用者への呼びかけを行っている。</p> <p>21年度利用者数 90団体、4,359人</p> <p>運営管理を委託している浦安市施設利用振興公社による、野外活動の事業などを実施し、利用の推進を図っている。</p> <p>巡回を通じて、利用しやすい環境づくりに努めてきた。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>利用者総数も概ね3800人から4000人を推移しており、年間を通じて利用していただいている。平成17年度からは、独自の野外活動事業を夏・春と企画し、一般の児童の利用促進を図った。また、利用者からの要望なども取り入れ、利用しやすい環境づくりを進めている。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	今後利用者声を反映しながら、効率的な運営を図っていきたい。				

事業番号	72	事業名	青少年交流活動センターの整備	担当課	青少年課
計画内容	<p>学校、25歳未満の市民が構成員の過半数を占める青少年団体、その他教育委員会が特に認める団体が利用できる宿泊型の研修施設を整備し、青少年の交流等の促進を支援します。</p>				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	整備・運営	
平成21年度 実施状況と評価	<p>指定管理者により運営管理を行っている。平成20年度より新しい指定管理者となり新たな提案内容において運営を実施、利用者からの評価も上々である。 4年目を向え、市民にも情報がいきわたり多くの人に利用されるようになってきた、特に日帰り利用におけるサークル等の活動が活発にされている。</p> <p>21年度利用人数 36,281人</p> <p>青少年団体等が多く宿泊されるなど、青少年の交流の場、健全育成の場として活用されている。</p> <p>平成21年度はインフルエンザの影響もあり、団体の宿泊利用者は若干少なめではあるが、リピーターを中心として多くの方の利用をいただいている。施設利用者のアンケートでも好評の意見が多く寄せられている。イベント等についても、うららめーる子ども会など、新たな事業も展開され、事業の工夫がみられた。今後は宿泊利用を増員できるよう検討を図りたい。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>平成17年度より指定管理者制度を導入し、現在は小学館集英社「D&A」が指定管理者として平成24年度まで運営管理を実施することとなっている。青少年の交流を育むための学習プログラムを加えながら各種の事業を展開し、年々多くの利用者が来館するようになってきている。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>今後も指定管理者が提案内容に基づき、効果的な運営を続けていくよう協力しあいながら利用者増員に努めていきたい。</p>				

事業番号	73	事業名	市民交流施設の整備	担当課	青少年課
計画内容	<p>主に中学生や高校生などの青少年が、芸術・音楽・文化をキーワードとして様々な活動に参加や体験ができ、またこれらの成果の発表が行える市民交流施設を整備します。</p>				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	整備・運営	
平成21年度 実施状況と評価	<p>青少年の居場所作りとして、マーレ内3階部分を新浦安カルチャープラザを設置し、放課後や休日における青少年の活動・交流を中心として、芸術・音楽・文化をキーワードに、青少年が様々な活動に参加しやすい講座やイベントなど様々な事業を展開している。</p> <p>平成21年度実施数 青少年対象の講座:24,246人 貸室利用状況:1,003人 青少年交流広場(フリースペース):3,921人 イベントは17回実施で863人</p> <p>サービス要求水準書に基づき実施されている。今後は、青少年利用者の増加につながるような講座や行事の開催、貸室料金などの見直しを行っている。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>青少年向けの講座や音楽スタジオの貸出し、各種イベントを実施しながら、青少年の居場所として活用され、多くの利用をいただいている。 特に高校生の学習やグループ活動のための利用が目立ってきており、より多くの高校生等に活用してもらえるよう、利用できる部屋を増やすなどの配慮をしている。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>平成21年度同様。</p>				

地域での有害環境対策の推進

事業番号	74	事業名	警察や薬剤師会から各学校への講師派遣による講話の実施	担当課	保健体育安全課
計画内容	喫煙、アルコール、薬物使用の害に関する知識を学ぶ機会を設けます。				
	平成15年度実績	小学校8校、中学校4校	平成21年度目標	継続	
平成21年度実施状況と評価	<p>・各小・中学校での薬物乱用防止教室における警察や薬剤師会による講演 小学校9校・中学校2校 計11校</p> <p>・全小学校新入学児童を対象とする防犯教室（連れ去り防止教室）における警察による講演 全小学校17校</p> <p>浦安市内の児童・生徒の顕著な問題行動は見られず、比較的落ち着いている。その中で覚せい剤等薬物使用に関するものは見られず、喫煙が中学生に若干見られる程度である。これらは「薬物乱用防止教室」等による学校の取り組みの成果だと考える。</p> <p>通学時の安全対策の一つとして、警察官による全小学校新入学児童を対象とする連れ去り防止教室を開催し、児童自身が不審者から身を守るという危険回避能力を養う指導を行った。</p> <p>また、学校間を越えた次のような取組も実施されている。</p> <p>青少年健全育成連絡会による薬物乱用防止の講演や学校防犯の講演 インターネット犯罪防止のための各学校における千葉県警察本部サイバー犯罪対策室による講演</p> <p>以上のような各学校の状況に応じて実施されており、一律の目標を数値として掲げることは難しいと思われる。</p>				
前期計画期間を通しての事業評価	<p>小中学校では、学校保健委員会の開催時に警察や学校薬剤師を招いての「薬物乱用防止教室」を実施し、児童生徒が専門家の話を聞くことにより、身近に起こっている問題として受け止め、考えることのできるよい機会となっている。</p>				
平成22年度事業予定と今後の課題	<p>本事業は、廃止とし、事業名を変更した「薬物乱用防止等対策の推進」や新たに事業立てする「交通事故防止対策の充実」および「学校等防犯対策の充実」などで取り組むこととなります。</p>				

事業番号	75	事業名	販売業者に対する対面販売の呼びかけ実施	担当課	青少年センター
計画内容	未成年者にタバコやお酒を売らないよう、販売業者に対する対面販売の呼びかけを実施します。				
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	継続	
平成21年度実施状況と評価	<p>未成年の飲酒・喫煙には補導の際、見落とすことなく注意を促し、購入先が判明した場合は、販売業者に対面販売を依頼する。また、有害図書等の販売については、県青少年健全育成条例に沿った販売方法を呼びかける。</p> <p>未成年の喫煙は、世の中の禁煙の動きを反映し、ほとんど見られなくなってきた。飲酒も夏の行事の時期を除いては極めて少なくなってきた。有害図書等の販売も、県青少年健全育成条例の浸透で適切な陳列、販売が行われていた。</p>				
前期計画期間を通しての事業評価	<p>未成年の飲酒・喫煙は、ほとんど見られなくなってきた。</p> <p>また、有害図書等の販売も、県青少年健全育成条例に則り適切な陳列・販売が行われてきている。</p>				
平成22年度事業予定と今後の課題	<p>未成年の飲酒・喫煙については、今後も見過ごすことなく補導活動の際に注意を促していく。</p>				

事業番号	76	事業名	青少年補導員による地域パトロールの実施	担当課	青少年センター																
計画内容	<p>教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センターが協働して地域パトロールを実施し、青少年に声をかけ、非行防止を図ります。</p>																				
	平成15年度実績	街頭補導による補導数	173人	平成21年度目標	充実																
平成21年度 実施状況と評価	<p>青少年センターが主催する月6回の中央パトロールや各中学校区で自主的に実施する地区パトロール（原則各地区月2回）、及び、花火大会や盆踊り等の市の行事では、積極的にパトロールを実施している。</p> <p>21年度パトロール実施回数と従事者人数（3月末日現在）</p> <table border="1"> <tr> <td>中央パトロール</td> <td>66回</td> <td>延べ</td> <td>286名</td> </tr> <tr> <td>地区パトロール</td> <td>171回</td> <td>延べ</td> <td>1,211名</td> </tr> <tr> <td>特別パトロール</td> <td>16回</td> <td>延べ</td> <td>589名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>253回</td> <td>延べ</td> <td>2,086名</td> </tr> </table> <p>本年度も、通常のパトロールに加え、夏季休業中における深夜徘徊実態調査パトロールを2回、県下一斉広域列車パトロールを2回実施し、深夜の子ども達や列車内や駅での実態の把握を行うことができた。また、パトロール時に着用している白のポロシャツやジャンパー、蛍光色の帽子が浸透してきたようで、パトロールが防犯活動にもつながっている。</p>					中央パトロール	66回	延べ	286名	地区パトロール	171回	延べ	1,211名	特別パトロール	16回	延べ	589名	合計	253回	延べ	2,086名
中央パトロール	66回	延べ	286名																		
地区パトロール	171回	延べ	1,211名																		
特別パトロール	16回	延べ	589名																		
合計	253回	延べ	2,086名																		
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>年々、補導員の参加も増え、中央パトロール・地区パトロール・深夜徘徊実態調査パトロール等のパトロールを積極的に実施できた。 また、非行防止・防犯活動のため、引き続きパトロールを実施してゆく。</p>																				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>花火大会や盆踊りパトロール等の特別パトロールをはじめ、補導員の一層の参加を求めていく。</p>																				

事業番号	77	事業名	地域パトロールでの注意喚起、啓発活動の充実	担当課	防犯課
計画内容	<p>地域パトロールでの注意喚起、啓発活動により、子どもたちが犯罪に巻き込まれることを防ぐ活動を展開します。</p>				
	平成15年度実績	-		平成21年度目標	継続
平成21年度 実施状況と評価	<p>夏季と年末に空き巣やひったくりなどをテーマにした市内一斉防犯キャンペーンと市内一斉防犯パトロールを防犯協会、警察署並びに関係機関と協力し実施した。</p> <p>青色回転灯を装備した防犯パトカーによる市内巡回において、児童の登下校時刻には通学路等を中心に巡回させ、児童の安全確保を行った。</p> <p>年間を通じて幼稚園、保育園、小学校、児童育成クラブにおいて児童連れ去り防止教室などを実施した。</p> <p>防犯支部長や一般市民向けに防犯講演会を開催、また自治会や各種団体を対象に、防犯講話を実施した。</p> <p>移動防犯車による定期的（市内の公園等）な移動防犯教室を開催、また市や各種団体が開催するイベントで、移動防犯車を活用し啓発活動を行った。</p> <p>子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」に向け、市の責務とする、情報の発信、自主防犯活動の支援、児童の安全対策に則り実施できたことは評価できる。</p> <p>犯罪人知件数を23年までに2,500件以下にする目標の達成を目指す。 平成21年3月末現在 実績値 犯罪認知件数：2,677件（暫定値）</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>概ね計画どおり事業が遂行できた。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>高洲地区に移動防犯事業の拠点施設を開設し、移動防犯事業の充実・拡充を図っていく。</p>				